**平成３０年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同冬季講演大会**

**並びに講演募集のお知らせ**

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、両支部共催の標記講演大会を下記要領により　　開催いたしますので、会員各位のご講演申込み並びに活発な討論の機会となりますよう多数のご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 開 催 日 時：平成３１年１月１０日（木）、１１日（金）
2. 会 　　　　場：室蘭工業大学　S201・S301講義室

〒050-8585　北海道室蘭市水元町27-1　TEL 0143-46-5000

1. 共　催・協　賛：[共催]本多記念会　[協賛]日本鋳造工学会北海道支部、軽金属学会北海道支部
2. 講演申込み方法:講演発表希望者は、別紙１の申込書に明記の上、講演概要原稿と共に下記宛先

　　　　　　　　　 まで郵送するか電子メールで申し込んで下さい。電子メールで申し込まれる場

　　　　　　　　　 合、講演概要原稿はMicrosoft Wordで作成し、Word形式のファイルとPDF化

したファイルの双方をメールに添付してお送り下さい。

また、提出原稿はそのまま製版する方法をとりますので、別紙２を参考にして

作成して下さい。受付後に受理の返信メールを差し上げます。

〒050-0087　北海道室蘭市仲町12番地

新日鐵住金㈱　室蘭技術研究部内

日本鉄鋼協会北海道支部事務局　吉田　邦彦

TEL：0143-47-2651　　FAX：0143-47-2760

e-mail：mu\_tekkyo@jp.nssmc.com

1. 学 生 表 彰 ：創意工夫にあふれた講演を行い的確な質疑応答を行った優秀な学生に対して

鉄鋼支部・金属支部それぞれから「奨励賞」が授与されます。

希望される学部生、院生諸君は申込書に審査を希望する学協会を記入し応募者

氏名及び学部、修士、博士別を明記して下さい。

1. 一 般 表 彰　: 若手技術者・研究者(発表日に35歳未満・学生は除く)の優れた研究発表に対し

て表彰を行います。応募者氏名、年齢を明記して下さい。

1. 申込み締切日 ：**平成３０年１１月３０日（金）必着**

講演申込みと講演概要原稿提出締切日は同一日ですのでご注意願います。

1. 参　加　費 ：当日会場受付にて、お一人1,000円の参加費を申し受けます。

（ただし、聴講のみの学生は無料（概要集は無し））

1. 交　流　会 ：初日の講演大会終了後、交流会（懇親会）を開催いたします。交流会への出欠の

可否を申込書に記載いただきますようお願い申し上げます。

参加費（一般3,000円、学生2,000円）は講演大会初日に受付でお支払い下さい。(ただし、講演発表を行った学生は無料)

１０．そ　の　他　：講演時間は１件15分（発表10分、質疑応答5分）とし、内容は、研究・実験に

　　　　　　　　　　限らず技術的なものも歓迎します。なお、連続発表は２件までとします。

別紙１

　　日本鉄鋼協会、日本金属学会両北海道支部合同

平成３０年度冬季講演大会講演申込書

　１．代表者氏名：

 ２．所　属：

　３．連絡先：

　４．電　話：　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ：

E-mail：

　５．発表論文名、所属・発表者、共同研究者の氏名（講演者には、○及びふりがな）を下記枠内に　　記入して下さい。

　　　（注：E-mailの場合下記枠内の記入事項は全てそのまま印刷されます）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  5-1 | 発表論文名 |  |
|  5-2 | 発表者共同研究者 |  |

　６．分科会分類：物性、組織、力学物性、材料化学、材料プロセス、工業材料、環境・新領域

　　　　　　　　　上記分科会を一つ選んで下さい。

分類：

　７．学生表彰：鉄鋼協会・金属学会の種別を選択し、応募者氏名を記入して下さい。

学会の選択（鉄鋼・金属）：

応募者氏名：　　　　　　　　　　学年：

　８．一般表彰：鉄鋼協会・金属学会の種別を選択し、応募者氏名、年齢を記入して下さい。

学会の選択（鉄鋼・金属）：

応募者氏名：　　　　　　　　　　年齢：

９．交流会（懇親会）参加についてご連絡ください。（**必須**）

ご出席　　　　　　　　　ご欠席別紙２

支部講演会講演概要作成要領

1. 講演概要原稿は、カメラレディとします。ワープロで作成しレーザープリンターあるいはそれに　　準じる品質で印刷し提出して下さい。電子メールの場合は、Microsoft Wordで作成し、Word形式のファイルとPDF化したファイルの双方をお送り下さい。
2. 表題は２行も可能です。ただし、必ずセンタリングして下さい。
3. 表題と所属、氏名は１行空けて下さい。所属は通常使用される略称でもかまいません。
4. 講演者には○印及びふりがなをふってください。右詰めとします。所属、氏名と本文の間は１行　　空けて下さい。
5. 本文は出来るだけ〔目的〕、〔方法〕、〔結果〕に分け、それぞれの間は改行して下さい。
6. 図、写真は、必要に応じて入れることが可能です。ただし、概要集はモノクロ印刷になりますので、カラーでの図面作成は控えて下さい。また，図、写真は小さくなりすぎないよう注意して下さい。
7. 結果を明記するように心がけて下さい。くれぐれも「結果は、当日報告する。」としないようにお願いします。
8. 電子メールで申し込まれる場合、システムの都合上1MB以上の添付ファイルは受け付けることが出来ません。また、整理の都合上ファイル名が他の講演者と重ならないよう講演者名等を使いユニークなものとなるようご協力をお願いします。下記に講演概要原稿の例を示します。

**ナノ粒子の自己組織化に関する研究**

北大院　○，室工大　北海花子

[目的]　フォントは、明朝体あるいはそれに準ずる書体を用い、本文のサイズは10.5～12ポイント程度、表題は12～14ポイントとして下さい。表題は、センタリングを、所属、氏名は右詰めでお願いします。

[方法] A４縦で、左マージン25mm、右マージン20mmに設定し縦120mm、横165mmの中におさまるようレイアウトして下さい。レーザープリンターあるいはそれに準ずる品質で印刷して下さい。

[結果] 図表や写真はキャプションや凡例が小さくなりすぎないように注意して下さい。写真は鮮明なものをお願いします。